

(様式2)

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立倉吉農業高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	平成31年3月12日
------	--------	-----	------------

1 学校目標	
農業教育をはじめとして、あらゆる教育の場において豊かな感性を育て、基礎基本を大切に知の修得に努め、自らの可能性を信じて不断の努力を惜しまない生徒の育成を図るとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。	
1. 基礎・基本の定着と学力の向上 2. 基本的な生活習慣の確立 3. 地域連携と特色ある教育活動 4. 進路意識の向上と進路保障 5. コミュニケーション能力の向上	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
1. 県版SPH事業を推進する。特に長期インターンシップ、県外先進地農家留学研修、6次化プロデューサー認証、就農促進事業、大学との連携、資格取得等の充実を図る。	県版SPH事業やインターンシップ（長期・2年生）を通して、スーパー農林水産業士の育成や農業系進学率向上など一定の成果を得た。また、資格取得の合格率は目標を達し、難易度の高いアグリマイスターについては前年のシルバー1名からゴールド1名、シルバー4名と合格者数が増加した。しかし、他の難易度の高い資格については合格率が伸び悩んでいるため合格率向上が求められる。
2. 2年次インターンシップを通して早期に進路意識を持たせ、進路意識の高揚を図る。	
<数値目標>	<数値結果>
1. スーパー農林水産業士の3名以上の認定	1. 3名
2. 生物科の農業系大学等の農業関連進学率が全進学希望者の50%以上	2. 50%
3. 環境科、食品科の農業系大学等の進学率が全進学希望者の30%以上	3. 29%
4. 農業及び学科関連産業への就職率が全就職希望者の50%以上	4. 37%
5. 資格取得の合格率が60%以上	5. 63%
6. 難易度の高い資格（アグリマイスター、農業技術検定、測量士補等）の合格者数向上	6. アグリマイスター5名、農業技術検定2級0名、測量士補1名、危険物取扱者乙種4類1名

<p>3 実施事業</p>
<p>【高等学校課事業】 事業名：県版SPH事業（全学年対象） 事業概要： （1）長期インターンシップ 2・3年生で合計20日間、パートナーシップ農家で就業体験を実施 （2）県外先進地農家留学研修 夏期休業中に北海道等の県外先進農家で農業研修を実施 （3）食の6次産業化プロデューサー認証 3年間でレベル2まで取得 （4）大学との連携 鳥取大学及び龍谷大学の各農学部を訪問し、施設見学や授業体験を実施 （5）地域連携担当教員の配置 （6）教員研修の推進</p> <p>【独自事業】 事業名：就農促進事業（全学年対象） 事業概要： 地域の農家を視察し農業青年と懇談を行い、知り得た知識や技術などに基づいて将来の農業経営等を考察し発表する。</p>
<p>4 総合所見（成果・評価）</p>
<p>県版SPH事業や就農促進事業の推進を通し、生徒の意識は確実に変化してきている。県内外の意欲ある農家や大学での学びから、農業に可能性があり地域に欠かせない産業との意識が高まっている。そのことで、長期インターンシップ、県外先進地農家留学研修、6次化プロデューサー認証、就農促進事業、大学との連携、資格取得等様々な取組に積極的に挑戦する姿勢が見られた。</p> <p>また、2年次インターンシップを通して早期に進路意識を持たせ、進路意識の高揚を図ることも進路決定に影響を与えている。これは、各科の専門領域のインターンシップを進めており、教科との関連が理解しやすいことが要因と考えられる。今後も専門人材育成の取組を継続し、地域を支える人材の育成に努めたい。</p>

※枚数任意